

科目名	老年期障害治療学実習			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
<ul style="list-style-type: none"> ・老年期障害についての障害像を知り、それがどのようにしてそうなるのか？障害や課題の評価と治療にむけた考え方のきっかけをつかむ。生活行為向上マネージメントについて簡単に接することで、臨床で活用するきっかけを作る。 ・高齢者の現状を疾患学やその特性を理解し、要介護・介護予防の作業療法について学ぶ 							
〔授業全体の内容の概要〕							
<ul style="list-style-type: none"> ・回復期病棟における老年期障害についての障害像をイメージしながら学ぶ ・生活行為向上マネージメントについて事例を通して学ぶ ・事例検討を通して、老年期障害(認知症を含む)の特性を理解する。またその周辺(家族)も含めた作業療法の展開を考える 							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕							
<ul style="list-style-type: none"> ・生活行為向上マネージメントについての概要を知る、回復期病棟における老年期障害の生涯像を作ることができる。 ・事例検討を通して、老年期障害(認知症を含む)の特性を理解する。またその周辺(家族)も含めた作業療法の展開を理解できる。 							
回数	講義内容						
1	生活行為向上マネージメントの概論						
2	生活行為向上マネージメントの事例演習						
3	生活行為向上マネージメントの事例演習						
4	回復期病棟と老年期障害						
5	回復期病棟における老年期障害の障害像						
6	回復期病棟における老年期障害の障害像						
7	回復期病棟における老年期障害の障害像						
8	まとめ						
9	介護老人保健施設とは						
10	病院から在宅まで介護サービス利用における老健OTの関わり						
11	病院から在宅まで介護サービス利用における老健OTの関わり						
12	老健における多職種で関わる生活リハビリ						
13	老健における多職種で関わる生活リハビリ						
14	家族を巻き込んだ生活障害への取り組みを知る						
15	家族を巻き込んだ生活障害への取り組みを知る						
16	事例を通して(短期集中・認知症短期集中リハビリテーション)						
17	事例を通して(短期集中・認知症短期集中リハビリテーション)						
18	まとめ						
19	まとめ						
20	介護老人保健施設における作業療法						
21	介護老人保健施設における作業療法						
22	介護老人保健施設における作業療法						
23	介護老人保健施設における作業療法						
定期筆記試験							
【 準備学習・時間外学習 】							
【 使用テキスト 】							
書籍名		著者名		出版社			
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】							
筆記試験							